

2022 年度

活動報告及び決算報告書



一般社団法人 JLMM

2022年度 JLMM 活動報告

1. 2022年度の動きと成果（概要）

概況

2022年度前半は感染拡大が続いていた新型コロナウイルスの影響で、海外や日本国内において対面での活動が実施できないため、オンラインを中心とした活動を継続した。年度後半に感染状況が緩和されたため、対面のプログラムを徐々に再開させた。派遣に向けた研修は対面を含めたフォローアップ研修を実施した。昨年度から継続していたオンライン・ライブバザーやバーチャルスタディツアーは、年度後半に実会場のバザーや実地のスタディツアーに切り替わり、本来の形式での実施が再開された。

派遣地における活動

カンボジアにおいては2020年4月以来、派遣者不在の状態が続いているが、プログラム・コーディネーターのソピア氏を中心とした3名の現地スタッフが活動を継続している。

「子どもの家」の活動などの活動は規模を縮小して、ほぼ従来通りの活動を再開した。

現地で活動を継続する3名の現地スタッフのサポートのため、元派遣者(元 JLMM カンボジア代表)と事務局スタッフで約3年ぶりに現地を訪問し、現地スタッフとの業務引継ぎと活動の現状の共有を行った。

コロナ禍による生活困窮家族に向けた米、油、魚の缶詰など食糧パック配布は規模を縮小して継続した。

派遣候補者募集と研修、派遣

2021年度にオンライン研修を修了した派遣候補者4名は、2022年度フォローアップ研修を実施した。オンラインと対面を組み合わせ実施し、2023年度に予定される共同体での研修と派遣に備えた。

スタディツアー（オンライン）

年度前半は新型コロナウイルス感染拡大により、高校の企画や一般公募によるオンライン・バーチャルスタディツアーを実施した。年度後半は感染状況が落ち着いてきたため、学校企画に限り実地のスタディツアーを再開し、広島学院高校および上智福岡高校のツアーを実施した。

活動紹介とラチャナ商品紹介（教会に向けた広報の拡充）

年度前半はオンラインや機関紙を利用した販促活動を実施し、特にラチャナハンディクラフト、コーヒードリップパック、胡椒については「オンライン・ライブバザー」として生配信企画を実施した。年度後半は対面に

よるイベントやバザーの出展参加を再開した。

連携事業（カリタス南相馬、ERST、東京教区災害対応チーム、カリタス東京）

引き続き「カリタス南相馬」の運営支援を行った。

災害発生時に被災教区の支援を専門的にサポートする「緊急対応支援チームERST」の事務局として、特に組織づくりの面での支援を行った。

「カトリック東京教区災害対応チーム」が新設される「カリタス東京」の災害担当部門に再編され、その活動の立ち上げ支援に参画した。

各国派遣状況及び会員数は以下のとおりである。

2023年3月31日現在の派遣国と派遣者

カンボジア…0名

計 0ヶ国 0名

2023年3月31日現在の正会員数 10名（名簿は後述）

2023年3月31日現在の賛助会員数 2,326（個人・団体）

内訳

個人… 1,103、教会… 353、修道会… 555、学校… 187、その他… 128

成果

- ・オンラインと対面の両面において、新たな支援者・協力者を獲得することができた。
- ・派遣者不在のカンボジアにおいて、現地スタッフによる活動の運営が促進された。
- ・ERST やカリタス東京など、新設組織の設立準備に貢献できた。

課題

- ・コロナ感染状況が落ち着き、オンラインから対面に移行しつつあるプログラムだが、一般募集のスタディツアーなど、プログラムによっては本格的な活動再開の時期の見極めが難しい。
- ・海外への渡航費、宿泊費などの上昇と円安の影響で、海外事業やスタディツアーの実施、輸入事業が以前に比べて経済的に難しくなっている。

2. 各国活動

(1) カンボジア

I プノンペン市ステンミエンチャイ地区ゴミ集積場周辺に暮らす家族のための生活向上支援

カンボジアにおけるコロナ感染症の拡大により、2020年3月31日に浅野美幸、4月5日に洞江有実子が緊急帰国し、日本からの派遣者は不在の状態が続いているが、現地スタッフ3名(ソピア、サヴェット、マーリン)が現地の活動を担当した。

2022年度は、次のとおり事業を実施した。事業実施に関する活動資金の一部は、大阪大司教区「カンボジアの日」、海外邦人宣教者活動援助後援会(JOMAS)などからの支援を受けた。

1.概要

カンボジアにおけるコロナウイルス感染症拡大の影響により、2021年度にプロジェクト実施地はロックダウン状態となり、すべての教育機関が数カ月間閉鎖、地域の縫製工場なども閉鎖され、多くの人々は職を失うなど人々の生活は厳しい状況となった。JLMM カンボジアの「子どもの家」もロックダウン時には活動をすべて休止した。2021年11月から教育機関の活動が再開され、2022年度には「子どもの家」の活動などほとんどの活動を再開させた。

コロナ禍の影響で、JLMMの活動地のステンミエンチャイ地区、特に有価物收拾により現金収入を得ている住民の多いルッセイ村では、収入源が得られず支出が増加することで生活困窮の度合いを増している。そのため、コロナ禍に実施していた食糧支援活動は規模を縮小させて継続している。

2. 活動

月曜日から金曜日の午前7時から11時まで、および午後2時から5時まで次の活動を行った。

スタッフは、母親センターの清掃・メンテナンス、教材開発、母親セミナーの準備、図書室整備、教室の整備、ゲームの準備、ドリップパックコーヒー生産・発送、ハッピーアイス業務、食料パックの準備と配布、銀行手続きや会計業務などを行った。

A. 子どもの家 (Home of Children Program)

年齢層にあわせた3クラスの活動を週5日間、コロナ前と同様に実施した。

歌、衛生教育、本の読み聞かせ、クメール語学習、塗り絵、絵画、ゲーム、パズル、絵本などの活動を行った。

月曜から金曜まで、8時30分から11時まで実施し、給食を再開した。

ゴール	すべての子どもたちが公立小学校で学ぶことができる				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが活動を通して創造力を身につける ・子どもたちがクメール文字の読み書きを習得する ・子どもたちがより多くのクメール語の単語を学ぶ ・子どもたちが病気について知り、予防することができる ・子どもたちが手洗いを習慣とすることができる ・子どもたちが規則を守ることができる ・子どもたちが「誠実」「尊敬」「正直」の良い性格を身につける ・子どもたちが大きな家族の兄弟姉妹として、お互いに愛し合うことができる 				
対象	<ul style="list-style-type: none"> - 「小さな小さな子どもの家」3歳～5歳、18名 - 「小さな子どもの家」4歳～7歳、23名 - 「大きな子どもの家」7歳～13歳、18名 				
活動時間	8時30分～11時				
活動場所	プノンペン市ステンミエンチャイ地区ルッセイ村				
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
歌	歌	歌	歌	歌	歌
クメール文字学習	クメール文字学習	クメール文字学習	クメール文字学習	クメール文字学習	クメール文字学習
健康	道徳	健康	道徳	健康	健康
工作	数字学習	絵画	運動／音楽	数字学習	数字学習
自由遊び	塗り絵	自由遊び	塗り絵	ゲーム	ゲーム
絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ
給食	給食	給食	給食	給食	給食

2022年度中、2022年(4月～12月)は59名、2023年(1月～3月)は83名と子どもたちの参加数が増加した。

図書館は月曜から金曜までの午前7時30分から10時30分まで開室した。



子どもの家の再開



子どもの家一階のプレイルーム

B. 託児所 (Day Care Center)

コロナ禍では休止していたが、2023年1月に再開した。

3歳から5歳までの幼児35名を、6時30分から18時まで預かった。

ゴール	子どもたちが楽しく託児所に通うことができる			
目的	・子どもたちの健康な体と心が育まれる ・子どもたちが活動を通して創造力を身につける ・子どもたちが手洗いを習慣とすることができる ・子どもたちがクラスで友だちをつくることができる ・子どもたちが保護者、年上の人、教師に対して挨拶ができる			
対象	3歳～5歳、男子17名／女子18名 計35名			
活動時間	6時30分～18時30分			
活動場所	プノンペン市ステンミエンチャイ地区ルッセイ村「小さい子どもの家」			
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
歌	歌	歌	歌	歌
道徳	衛生	道徳	衛生	道徳
塗り絵	お絵描き	塗り絵	お絵描き	塗り絵
自由遊び	自由遊び	自由遊び	自由遊び	運動
絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ
給食	給食	給食	給食	給食
昼寝	昼寝	昼寝	昼寝	昼寝
歌	歌	歌	歌	歌
お絵かき	数字	色	お絵かき	運動
自由遊び	自由遊び	自由遊び	自由遊び	自由遊び
おやつ	おやつ	おやつ	おやつ	おやつ
絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ
DVD鑑賞	DVD鑑賞	DVD鑑賞	DVD鑑賞	DVD鑑賞

*「自由遊び」はパズル、人形遊び、おもちゃ遊びの中から子どもが自由に選ぶ

C. 母親セミナー (Seminar for mothers)

母親は家庭の生活改善のために重要な役割を持っているという認識のもと、地域の女性に向けて衛生教育、住環境改善のセミナーを開催した。コロナの状況に合わせて、少人数の住民を対象にスタッフが村に出向いて実施した。女性自身が各自の課題に気づき、お互いに体験を分かち合うことを通して知見を共有し、自分たちの力で生活改善を実施していくことを目指した。

ゴミを収集して生計を立てている母親を主な対象者として、3つのグループに分け、セミナーを実施した。スタッフは他の NGO や健康センターでトレーニングを受けており、教材もより理解しやすいものへと改善されている。

ゴール	母親たちが生活状況を改善させる
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・母親たちが自らの生活状況を理解する ・母親たちが家族に対して栄養バランスのとれた食事を提供できる ・母親たちが病気を自ら予防できる ・母親たちが子どもたちのより衛生的な習慣づけに導くことができる
対象	ルッセイ村の141名の母親たち（3グループ）
活動時間	14時30分～16時30分
場所	ルッセイ村母親センター(衛生教育)、およびルッセイ村住居エリアの軒先(栄養改善と住環境教育)
活動	<ul style="list-style-type: none"> - 衛生教育（3グループごとに毎月1回） - 栄養改善教育(3グループごとに毎月12日間) - 住環境教育(週に1回、住居エリアにて)

衛生教育は①コロナ感染症について(2022年3月～5月、37名参加)、②チクンギニア熱(7月～8月、44名)、③デング熱(9月～12月、60名)の3回実施した。



住居エリアに出向いて実施するセミナー



栄養改善セミナーを行うスタッフのマリーン

D. 健康ケア支援 (Basic Health Care Service)

「子どもの家」に参加する子どもたちやルッセイ村の住民に対して、健康ケアの支援を実施した。けが、切り傷、かゆみ、シラミ、眼の病気に対して医薬品を提供して対処した。同時に治療方法や予防法についての指導も行った。状況に応じて、経済的困窮者に対して無料診療を行う NGO や地元の病院

とつなぎ、対応した。また緊急時には医療施設への交通費支援やコメの配給支援も行った。

- ・手と足を骨折した2名の生徒に対して、医療施設への交通費と食料を支援した。
- ・12家族に対して、病院までの交通費を支援した
- ・8家族に対して、医薬品を購入した。
- ・1家族に対して葬儀代を支援した。
- ・6家族のオートバイの修理代を支援した。



骨折した子どもに対して緊急支援を行った

E. 収入創出プログラム (Income Generation Program)

ゴミ收拾に代わる安定的で衛生的な収入源確保のため、収入創出プログラムを実施した。ステンミエンチャイ地区周辺やプノンペン市にて、屋台貸し出しプロジェクトとしてロッチェ(クレープ)およびハッピーアイスを販売した。主に公立小学校や民間の学校の前や、村の中での販売を行っている。

地域の母親たちの収入創出のため、コーヒードリップパック生産を行った。プノンペン市内のイオンモール、シェムリアップの店舗、日本での販売のために生産と発送を行った。ゴミ收拾に変わる仕事として、また子どもの就学を支える手段として実施した。今後も生活困窮にある女性、特に寡婦を対象とした生産者の拡大を目指したい。

E-1) 屋台貸し出しプロジェクト

ロッチェ(クレープ)販売はシーウォンさん、ハッピーアイス販売者はソピアップ、サンボウ、スレイモムさんの3名が参加した。

E-2) ドリップパックコーヒー生産

東京(日本での販売向け)、イオン・プノンペン支店、シェムリアップの土産物店舗での販売用に、6,654個のドリップパックコーヒーを生産・送付した。



屋台貸し出しプロジェクトを日本の大学生が訪問

4) 緊急食糧支援 (Emergency Food Support)

3年間にわたるコロナ感染症の拡大は、カンボジアの経済危機をもたらし、特にステンミエンチャイ地区に暮らす貧困家庭の生活に大きな打撃をもたらした。プロジェクト地のルッセイ村では住民のほとんどがゴミ収集、建設現場や工場のワーカー、オートバイタクシーの運転手などであり、収入が十分に得られない状況にある。生活困窮家庭を対象に、コメ10Kg、魚の缶詰2缶、魚醤1本、食用油1本、調味料1袋をパックにして配布した。2022年10月までは185世帯に、毎月配給した。

2023年1月から3月までは対象を縮小し、コメ10Kg、乾麺5袋、魚醤1本、調味料2袋をパックにして特に生活に困窮している10家族に配給した。



生活困窮世帯に食糧支援を継続



配給時にJLMM制作の「栄養本」も配布した

5) その他

・報告関係…CDC (カンボジア開発評議会)、カンボジア政府教育・青年・スポーツ省、プノンペン市ミエンチャイ区への3カ月毎の報告書、JLMM 東京事務局への2週間毎の報告書、月間会計報告、会議報告書、カンボジア政府との活動合意書(MOU)更新、財務省への決算報告、カンボジア外務省への年

間事業報告書などの作成・提出

・会議…東京事務所とのオンライン会議

(2022年3月11日、4月27日、11月24日、12月1日に実施)

・シェムリアップの修道会支援…IDカード、NGOビザ更新手続き

3. 調査・調整活動

・カンボジア調整…コロナ感染拡大に伴う2020年3月および4月の派遣者の緊急帰国以来、銀行口座の名義変更手続きや業務引継ぎなどのため、JLMMカンボジア代表の浅野美幸、漆原、辻の3名がプノンペン市において調整を行った。バットンバン市、シェムリップ市では2023年度派遣者のための派遣候補地や語学学習中の宿泊場所の調査、カンポット市郊外において胡椒生産者の状況について実地調査を行った。(11月23日から12月3日)

・フィリピン調整…2023年度派遣者の派遣先と語学学習の場所の調査のため、漆原がフィリピン・ミンダナオ島のダバオ市およびキダパワン市を訪問し、派遣候補地の児童養護施設イースタービレッジの所長、スタッフと会合を行った。(2023年1月12日から1月20日)

4. 研修

今年度はコロナ対応の特別措置として、昨年度のオンライン研修に引き続き、フォローアップ研修を毎月実施し、3名が参加した。フォローアップ研修はオンラインで5/8、6/11、7/9、8/20、10/4、12/10、2023年1/14、2/18、対面で9/23から9/25(鎌倉・聖母訪問会モンタナ修道院、山谷、横須賀)、2023年3/18・3/19(鎌倉・モンタナ修道院)にて実施した。

研修スタッフによる研修ミーティングを4/13、6/13、8/1、9/21、10/27、11/14、12/14、2023年2/8、3/16に実施した。

また、2023年度派遣前研修の打ち合わせを2023年1/11(シスター小野)、1/26および3/13(シスター大河内)に行った。



フォローアップ対面研修で派遣者 OG を訪ねる

5. 派遣

今年度は派遣を行わなかった。

6. 派遣候補者の募集と選考

今年度研修中の派遣候補者の2023年度派遣を見込むため、2023年度の新規派遣候補者募集と選考を行わなかった。

7. 団体連携・協力

(1) 特定非営利活動法人 AFMET

特定非営利活動法人 AFMET の運営に、事務局から金山と漆原を派遣し協力した。

AFMET 理事会 2022年4月25日、5月20日、7月4日、8月22日、9月21日、11月21日、
2023年2月6日

AFMET 総会 2023年3月12日

東ティモールフェスタ2022に実行委員会として参画し、2022年5月21日に上智大学四谷キャンパス9号館地下で開催されたステージイベントの運営に協力したほか、WEB ページ作成を行った。

「海の保全」に関する今後のプロジェクト立案のため、2023年2月20日に「日本ブルーフラッグ協会」の片山氏と AFMET スタッフがオンライン会合を行った。

(2) ERST (緊急対応支援チーム)

カリタスジャパンの呼びかけで、今後、中規模以上の災害発生直後時に全国から支援に駆けつけられるよ

うERST(緊急対応支援チーム)が選出されたが、今年度は漆原と辻がERSTの事務局担当者となり、組織の運営を支援した。

カトリック中央協議会復興支援室広報チームとの打ち合わせを2022年4月8日および10月31日、復興支援室長との打ち合わせを4月20日、ERST 会合を5月13日、7月15日、10月7日、12月19日、2023年2月1日・2日、3月2日・3日で開催した。

また、2022年9月29日に開催されたカトリック全教区の全国事務局長会議において ERST の活動を紹介した。



ERST 会合での災害対応演習

(3)カリタス東京

カトリック東京大司教区からの要請に応え、事務局の漆原と辻がこれまで「カトリック東京教区災害対応チーム」のメンバーとして活動に協力してきたが、2022年度より東京教区に「カリタス東京」が設置されることになり、災害対応部門がカリタス東京の活動の一部に組み込まれることになった。これを受け、カリタス東京の災害対応に関するプログラム立ち上げ支援を行った。

東京大司教区事務所にて、カリタス東京スタッフとの会合を2022年5月26日、6月9日、7月28日、10月6日に実施した。

(4)カリタス南相馬

東日本大震災と福島原発事故後の復興支援のため、一般社団法人カリタス南相馬に事務局の金山が派遣され、法人の運営に協力した。オンラインによる会議のほか、2022年6/20～23、7/25～28、8/29～9/1、9/26～29、10/31～11/4、11/28～12/1、2023年1/23～31、2/28～3/3に現地にて運営支援を行った。

2022年11月3日に「カリタス南相馬コンサート」が開催され、事務局スタッフが企画に参加した。

(5) 学校連携・協力

・札幌光星学園の教職員を対象に松村代表理事と事務局の漆原がカンボジアでの活動とスタディツアーについての講演を行った。(2022年8月18日)

・サレジオ学院高等学校においてカンボジア・バーチャルスタディツアーを実施した。学校の教室と、JLMM 事務所、カンボジア現地事務所の3元中継で実施した。(2022年10月24日)

・約3年ぶりのカンボジアスタディツアーを2022年12月23日～30日、広島学院高等学校と企画、実施した。

参加学生向けの事前学習会を11月10日、引率教員との打ち合わせを12月7日および9日に、ともにオンラインで実施した。

・上智福岡中学高等学校の学園祭でのカンボジア支援呼びかけ(ブックオフとの連携事業、2022年4月1日入金)、および京都暁星高等学校のウォークソン活動(5月31日入金)により、JLMM カンボジアの活動への資金的な協力を受けた。

・六甲学院高校の職員のカンボジアの JLMM 活動地訪問に際し、オンライン会議でサポートを行った。(2023年1月25日)

・上智福岡高校のカンボジアスタディツアーを再開、2023年から3月20日から28日まで実施した。

(6) アジア・シノドス

カトリック中央協議会の要請に応え、スタッフの辻がタイ・バンコク市で開催されたアジア・シノドスのアジア大陸大会に参加した。

(7) 諸団体、NGO との連携・協力

・JOMAS(海外邦人宣教者活動援助後援会)および大阪教区「カンボジア教会の日」から、JLMMカンボジアが実施するコロナ禍の生活困窮者を対象とした食料パック配布のための支援を受けた。

・施設を共有する NPO 法人アルペなんみんセンターと活動面での相互協力を行った。

8. ゴスペル

約3年間休止していたゴスペルの活動を2022年6月30日に再開、10月13日にも実施した。

9. 海外ボランティア制度

キリスト教信徒ではない、もしくは短い期間でも派遣を希望する方に向け、2012年度から新たな試みとして、フェローズ制度を設置し試行的に実施した。

2013年度からは名称を「海外ボランティア制度」に改め参加者を募集したが、希望者がなかったため実施しなかった。

10. 広報

(1) ミッション(ニュースレター)発行 他

ミッションNo.196～197の計2号を以下のとおり発行した。

No.	発行日	部数	内容
No.196	2022年5月10日	3,000部	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度オンライン研修修了 ・カンボジア にほんで今できること ・つながる・ひろがるオンラインツアー ・緊急食糧パック配布にご協力を！
No.197	2023年3月31日	3,000部	<ul style="list-style-type: none"> ・カンボジアスタディツアー再開！ ・2023年派遣候補者研修始まります！ ・イースター募金ご協力をお願い

(2) 広告掲載等

カトリック新聞におおむね月1回、年17回広告を掲載した。

2022年

4月17日	2段5cm	おうちで国際協力！
5月22日	2段5cm	おうちで国際協力！
6月12日	2段5cm	おうちで国際協力！
6月19日	2段5cm	おうちで国際協力！
7月17日	2段5cm	おうちで国際協力！
8月14日	2段5cm	おうちで国際協力！
9月18日	2段5cm	おうちの整理で国際協力！
9月25日	3段1/2	おうちの整理で国際協力！（世界難民移住移動者の日）
10月16日	2段5cm	おうちの整理で国際協力！
11月 6日	3段1/2	おうちの整理で国際協力！
11月20日	3段1/2	おうちの整理で国際協力！
12月 4日	2段5cm	おうちの整理で国際協力！
12月18日	2段5cm	おうちの整理で国際協力！

2023年

1月29日	2段5cm	おうちの整理で国際協力！
2月19日	2段5cm	おうちの整理で国際協力！

3月 5日 2段5cm おうちの整理で国際協力！
3月19日 2段5cm おうちの整理で国際協力！

(3)新聞・雑誌記事掲載

特になし。

11. 報告会・説明会・講演

- ・鎌倉事務所のスペースを提供して下さっているイエズス会のデ・ルカ レンゾ日本管区長に漆原がJLMMの活動紹介を行った。(2022年7月8日、アルペなんみんセンター訪問時)
- ・広島教区平和行事にて、中高生向けの講話とカンボジア商品の販売を行った。(2022年8月6日、漆原)
- ・大阪教区平和旬間行事として、布施教会にてカンボジア活動報告会(2022年8月7日)、大阪教区「カンボジアの日」活動報告会(8月7日)をサクラファミリアにて実施した。(ともに漆原)
- ・札幌光星学園の教職員を対象に松村代表理事と事務局の漆原がカンボジアでの活動とスタディツアーについての講演を行った。(2022年8月18日)(再掲)
- ・札幌教区行事「考えよう地球家族」で松村代表理事と事務局の漆原が講演した。(2022年8月20日、札幌教区カトリックセンター) また、カトリック真駒内教会にてカンボジア報告会と商品販売を実施した。(8月21日)

12. 主催イベント

(1)オンライン・ライブバザー

Facebook ライブにより、バザーの生配信を企画・実施した。カンポット塩漬け胡椒(2022年4月6日)



オンラインライブ・バザー



鎌倉小町通りでカンボジアマルシェ

(2) カンボジア・マルシェ

鎌倉駅前の小町通りにある支援者のお宅の駐車場スペースを借り、ラチャナ・ハンディクラフト、カンポット胡椒、ドリップパックコーヒーなどを紹介した。(2022年6月26日、7月24日、8月10日)

13. バザー・イベント等への参加・企画協力

・2022年9月14日、事務所近隣の「十二所マルシェ」に出店し、カンボジア胡椒の販売を行った。

・鎌人いち場(かまんどいちば)

10月16日(日)に鎌倉・由比ヶ浜海岸公園で開催された「鎌人いち場」に出展。活動紹介を行うほか、ラチャナ・ハンディクラフトやカンポット産胡椒の展示販売を行った。



十二所マルシェに出店しカンボジア胡椒を紹介

・2022年10月17日、鎌倉市内「大仏前マルシェ」に出店し、カンボジア胡椒などの販売を行った。

・鎌倉婦人子ども会館(2022年10月29日)、雪ノ下フェスタ(10月30日)にてカンボジア商品を販売した。

・「逗子フェアトレードタウン講座」にてカンボジアとのフェアトレードについての講演と商品の販売を行った。(2022年11月19日)

・カトリック上野教会(2023年2月12日)、カトリック片瀬教会(2月19日)、下関労働教育センター(2月25日)、ALL4ONE ゴスペルイベント会場(3月8日)にてミニバザーを開催した。

・新事務所移転に伴い、事務局が所在する地域の飲食店やブティックなどにラチャナ・ハンディクラフトやドリ

ップパックコーヒーなどの委託販売を行った。(鎌倉市内のチャンズ・コレクション、ソンベカフェ)

14. その他事業

・ラチャナ・ハンディクラフトの事業支援とカンボジア活動地の紹介を行う目的として、ラチャナ・ハンディクラフトの手工芸品を輸入し販売を行った。

・カンボジア・カンポットで首都圏に出稼ぎに行かなくても地方での就業を支援する目的として、パラダイスガーデン・カンポット社から胡椒を輸入し販売を行った。

・胡椒販売のノウハウを得るため、事務局スタッフがフェアトレードショップ「Nハーベスト」を訪問し、店長からアドバイスを受けた。(2022年7月13日、小林理事、事務局スタッフ)

15. ファンドレイジング

・Brand Pledge：支援者が不要になったブランド品を送ることで、その売上がJLMMに寄付金として寄付される。2022年度 0件

・キモチと。：支援者が不要になった本やCDなどをブックオフに送ることで、その売上がJLMMに寄付金として寄付される。2022年度 5件 143,367円

・助成金申請のため、横浜西ロータリークラブにてカンボジアの活動報告を行った。(2022年10月20日)

16. OB・OG会

今年度は実施されなかった。

17. スタディツアー

・オンラインによるバーチャルスタディツアーの第3回(2022年4月29日)、第4回(7月16日)を企画、実施した。バーチャルスタディツアーはボランティアによるツアースタッフにより運営し、4月18日および4月27日に準備会合(オンライン)を行った。

・サレジオ学院高等学校においてカンボジア・バーチャルスタディツアーを実施した。学校の教室と、JLMM事務所、カンボジア現地事務所の3元中継で実施した。(2022年10月24日)(前掲)

・約3年ぶりのカンボジアスタディツアーを2022年12月23日～30日、広島学院高等学校と企画、実施した。
(前掲)

- ・上智福岡高校のカンボジアスタディツアーを再開、2023年から3月20日から28日まで実施した。(前掲)



バーチャルツアーで子どもたちとのクイズ大会



広島学院ツアーでカンボジア学生との交流会

18. スタッフ研修

- ・実施しなかった。

19. 会議

(1) 総会

開催回	開催日	会場	議 題
定時	2022年 6月6日	事務局 (書面表決)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任について ・2020年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
臨時	2021年 10月12日	事務局 (書面表決)	<ul style="list-style-type: none"> ・定款変更(事務局移転)

(2) 理事会

開催回	開催日	会場	議 題
第1回	2022年 6月6日	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各国・国内活動状況について ・2022年度フォローアップ研修について ・顧問司教の任期満了について ・2021年度活動報告(案)及び収支決算(案) ・2022年度活動計画(案)並びに収支予算(案) ・2023年度派遣候補者募集について

第2回	2022年 9月5日	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各国・国内活動状況について ・顧問司教の承認報告 ・2023年度派遣について
第3回	2022年 12月5日	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各国・国内活動状況について ・研修と派遣について
第4回	2023年 3月6日	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各国・国内活動状況について ・2023年度研修について ・2023年度派遣について ・2024年度派遣候補者募集について ・総会について ・2023年度計画について

20. 正会員・理事・顧問司教

正会員は次のとおりである。当会の正会員は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定されている社員である。

	氏名	備考
1	緒方 真理子	
2	岸野 眞理子	
3	眞鍋 まり	
4	大垣 俊朗	
5	漆原 比呂志	
6	辻 明美	
7	金山 重之	
8	小林 誠	
9	渡邊 怜子	
10	松村 繁彦	

役員構成は次のとおりである。

理事の任期は2021年5月29日から2022年度最終総会まで、監事の任期は2019年5月29日から2022年度最終総会までとなる。

顧問司教は山野内倫昭さいたま教区司教である。

	役職	氏名	所属等	備考
1	代表理事	松村 繁彦	カトリック北一条教会主任司祭	
2	理事	浜崎 眞実	カトリック横須賀三笠教会主任司祭	指導司祭

3	理事	高橋 睦子	幼きイエス会	
4	理事	村上 芳隆	フランシスコ会	
5	理事	渡邊 怜子	日本カトリック信徒宣教会・OG	
6	理事	小林 和夫	日本カトリック信徒宣教会・OB	
7	理事	高橋 真也	日本カトリック信徒宣教会・OB	
8	理事	漆原 比呂志	JLMM 事務局 / OB	事務局長
1	監事	品田 典子	北海道カトリック学園	
2	監事	野田 典義	野田典義税理士事務所	

野田典義監事及び品田典子監事による監査を実施した。

2023年5月26日

21. 加盟団体等

2023年3月31日現在、当会が所属する団体等は次のとおりである。

日本カトリック司教協議会 公認団体（2002年5月9日加盟）

特定非営利活動法人国際協力NGOセンター(JANIC)正会員（2009年10月23日承認）

貸借対照表
2023年3月31日現在

一般社団法人JLMM

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	70,000	0	70,000
普通預金	5,798,694	1,494,905	4,303,789
定期預金	100,000	100,000	0
立替金	0	0	0
前払費用	0	4,456	△ 4,456
棚卸資産	301,000	290,580	10,420
流動資産合計	6,269,694	1,889,941	4,379,753
2. 固定資産			
工具器具備品	203,187	103,736	99,451
固定資産合計	203,187	103,736	99,451
資産合計	6,472,881	1,993,677	4,479,204
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	25,862		25,862
預り金	298,197	125,748	172,449
流動負債合計	324,059	125,748	198,311
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	324,059	125,748	198,311
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産合計	6,148,822	1,867,929	4,280,893
正味財産合計	6,148,822	1,867,929	4,280,893
負債及び正味財産合計	6,472,881	1,993,677	4,479,204

2022年度正味財産増減計算書
2022年4月1日から2023年3月31日まで

一般社団法人JLMM

(単位：円)

	当年度	前年度	差異	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	1,033,000	1,372,000	△ 339,000	
受取会費	1,033,000	1,372,000	△ 339,000	
受取寄付金	16,003,363	9,984,898	6,018,465	
受取寄付金	16,003,363	9,984,898	6,018,465	
受取寄付金振替額	0	0	0	
受取助成金	3,691,946	3,155,375	536,571	
受取助成金	3,691,946	3,155,375	536,571	
受取助成金振替額	0	0	0	
その他の収益	2,635,978	609,159	2,026,819	
雑収益	23	11	12	
受取利息	23	11	12	
雑収入	0	0	0	
経常収益計	23,364,310	15,121,443	8,242,867	
(2) 経常費用				
事業費				
給与手当	6,333,600	6,399,310	△ 65,710	
法定福利費	1,030,650	1,052,757	△ 22,107	
福利厚生費	18,663	14,338	4,325	
会場費	33,000	316,000	△ 283,000	
会議費	26,782	8,125	18,657	
旅費交通費	614,194	28,180	586,014	
通信運搬費	354,716	1,080,536	△ 725,820	
消耗品費	220,573	190,293	30,280	
派遣手当	0	0	0	
印刷製本費	50,202	135,690	△ 85,488	
現地活動費	3,692,446	3,155,375	537,071	
賃借料	7,920	8,228	△ 308	
保険料	6,520	0	6,520	
諸謝金	22,272	202,500	△ 180,228	
支払手数料	18,451	39,032	△ 20,581	
広告費	160,545	165,275	△ 4,730	
期末棚卸高	0	△ 290,580	290,580	
委託費	0	5,200	△ 5,200	
仕入高	1,362,613	0	1,362,613	
事業費計	13,953,147	12,510,259	1,442,888	

	当年度	前年度	差異	備考
管理費				
給料手当	3,407,520	3,507,310	△ 99,790	
法定福利費	562,167	584,430	△ 22,263	
福利厚生費	9,369	7,169	2,200	
会議費	2,041	4,100	△ 2,059	
旅費交通費	4,076	16,120	△ 12,044	
通信運搬費	107,445	84,451	22,994	
減価償却費	53,248	51,609	1,639	
消耗品費	3,746	20,534	△ 16,788	
印刷製本費	0	0	0	
光熱水料費	60,000	65,005	△ 5,005	
賃借料	0	26,940	△ 26,940	
リース料	162,288	520,512	△ 358,224	
委託費	0	31,790	△ 31,790	
諸会費	44,125	44,125	0	
租税公課	64,100	144,950	△ 80,850	
施設負担金	600,000	300,000	300,000	
修繕費	0	165,000	△ 165,000	
慶弔費	4,400	0	4,400	
支払手数料	45,745	46,422	△ 677	
管理費計	5,130,270	5,620,467	△ 490,197	
経常費用計	19,083,417	18,130,726	952,691	
当期経常増減額	4,280,893	△ 3,009,283	7,290,176	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産受贈益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	74,984	△ 74,984	
経常外費用計	0	74,984	△ 74,984	
当期経常外増減額	0	△ 74,984	74,984	
当期一般正味財産増減額	4,280,893	△ 3,084,267	7,365,160	
一般正味財産期首残高	1,867,929	4,952,196	△ 3,084,267	
一般正味財産期末残高	6,148,822	1,867,929	4,280,893	
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	0	0	0	
受取助成金	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	6,148,822	1,867,929	4,280,893	

2022年度正味財産増減計算書内訳
2022年4月1日から2023年3月31日まで

一般社団法人JLMM

(単位：円)

	実施事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計
	研修事業	派遣活動事業	調査研究事業	広報事業	行事	その他事業			
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受取会費	0	0	0	0	0	0	1,033,000	0	1,033,000
受取会費							1,033,000		1,033,000
受取寄付金	1,000,000	3,000,000	1,000,000	4,700,000	200,000	0	6,103,363	0	16,003,363
受取寄付金	1,000,000	3,000,000	1,000,000	4,700,000	200,000	0	6,103,363		16,003,363
受取寄付金振替額									0
受取助成金	0	3,691,946	0	0	0	0	0	0	3,691,946
受取助成金		3,691,946							3,691,946
受取助成金振替額									0
その他の収益						2,635,978			2,635,978
雑収益	0	0	0	0	0	0	23	0	23
受取利息							23		23
雑収入									0
経常収益計	1,000,000	6,691,946	1,000,000	4,700,000	200,000	2,635,978	7,136,386	0	23,364,310

	実施事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計
	研修事業	派遣活動事業	調査研究事業	広報事業	行事	その他事業			
(2) 経常費用									
事業費									
給与手当	0	3,166,800	0	0	0	3,166,800			6,333,600
法定福利費	0	507,659	0	0	0	522,991			1,030,650
福利厚生費	0	9,294	0	0	0	9,369			18,663
会場費	30,000	0	0	0	3,000	0			33,000
会議費	11,943	3,740	0	6,100	4,999	0			26,782
旅費交通費	82,877	3,458	502,524	17,671	7,664	0			614,194
通信運搬費	52,133	7,744	2,240	286,806	5,793	0			354,716
消耗品費	80,503	95,601	32,403	9,653	2,413	0			220,573
派遣手当									0
印刷製本費	0	0	0	50,202	0	0			50,202
現地活動費	0	3,692,446	0	0	0	0			3,692,446
賃借料	0	0	0	7,920	0	0			7,920
保険料	0	0	6,520	0	0	0			6,520
諸謝金	22,272	0	0	0	0	0			22,272
支払手数料	649	3,960	12,600	440	802	0			18,451
広告費	0	0	0	160,545	0	0			160,545
期末棚卸高									0
租税公課						0			0
仕入高						1,362,613			1,362,613
事業費計	280,377	7,490,702	556,287	539,337	24,671	5,061,773	0	0	13,953,147

	実施事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計
	研修事業	派遣活動事業	調査研究事業	広報事業	行事	その他事業			
管理費									
給料手当							3,407,520		3,407,520
法定福利費							562,167		562,167
福利厚生費							9,369		9,369
会議費							2,041		2,041
旅費交通費							4,076		4,076
通信運搬費							107,445		107,445
減価償却費							53,248		53,248
消耗品費							3,746		3,746
印刷製本費							0		0
光熱水料費							60,000		60,000
賃借料							0		0
リース料							162,288		162,288
委託費									0
諸会費							44,125		44,125
租税公課							64,100		64,100
施設負担金							600,000		600,000
修繕費									0
慶弔費							4,400		4,400
支払手数料							45,745		45,745
管理費計	0	0	0	0	0	0	5,130,270	0	5,130,270
経常費用計	280,377	7,490,702	556,287	539,337	24,671	5,061,773	5,130,270	0	19,083,417
当期経常増減額	719,623	△ 798,756	443,713	4,160,663	175,329	△ 2,425,795	2,006,116	0	4,280,893

	実施事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計
	研修事業	派遣活動事業	調査研究事業	広報事業	行事	その他事業			
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損									0
経常外費用計	0						0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	719,623	△ 798,756	443,713	4,160,663	175,329	△ 2,425,795	2,006,116	0	4,280,893
一般正味財産期首残高	2,073,824	2,305,233	1,000,000	974,969	1,004,453	△ 6,431,973	941,423	0	1,867,929
一般正味財産期末残高	2,793,447	1,506,477	1,443,713	5,135,632	1,179,782	△ 8,857,768	2,947,539	0	6,148,822
II 指定正味財産増減の部									
受取寄付金									0
受取助成金									0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高								0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,793,447	1,506,477	1,443,713	5,135,632	1,179,782	△ 8,857,768	2,947,539	0	6,148,822

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

車両運搬具、工具器具備品・・・定額法による減価償却をしている。

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期減価償却額	当期末残高
工具器具備品	103,736	152,699	0	53,248	203,187
合 計	103,736	152,699	0	53,248	203,187

3 指定正味財産から一般正味財産への振替額は次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
合 計	0

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
大阪教区カンボジアの日	大阪教区	0	1,551,446	1,551,446	0	一般正味財産
JOMAS	JOMAS	0	2,140,500	2,140,500	0	一般正味財産
合 計		0	3,691,946	3,691,946	0	

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産を有していない。

2. 引当金の明細

引当金を設定していない。

財 産 目 録

2023年3月31日現在

一般社団法人 J LMM

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現 金		手持現金	70,000
預 金	普通預金		
	三菱UFJ銀行六本木支店	運転資金として	819,019
	三菱UFJ銀行六本木支店	寄付金等受け入れとして	389,107
	郵便振替	寄付金等受け入れとして	4,590,568
	定期預金		
	三菱UFJ銀行六本木支店		100,000
	棚卸資産		301,000
流動資産合計			6,269,694
(固定資産)			
什器備品	パソコン4台	事務局にて使用	203,187
固定資産合計			203,187
資産合計			6,472,881
(流動負債)			
未払金	研修費、雇用保険料		25,862
預り金	社会保険料ほか		298,197
流動負債合計			324,059
負債合計			324,059
正味財産			6,148,822

監査意見書

一般社団法人 J L M M 定款第 27 条の規定に基づき、2022 年
度における理事の職務執行状況、事業の執行状況並びに財務の状況
について、当該年度の通常理事会議事録、活動報告書及び収支計算書、
正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を
証する関係諸帳簿、証拠書類等を精査したところ、いずれも適正に処
理されていると認められた。

2023 年 5 月 26 日

一般社団法人 J L M M

監 事 (財務)

野 田

一般社団法人 J L M M

監 事 (事業)

野 田